

校長室より

平成28年6月21日

体育祭を終えて

6月18日（土）、本校の伝統行事のひとつであります体育祭が開催されました。

昨日まで心配された天気も、生徒の「体育祭をやりたい」という気持ちに通じて、体育祭日和となりました。

本校の体育祭の特徴は、応援披露にあります。赤組、白組の幹部・応援団が独創的な応援内容を考案し、6分30秒から7分の時間で仕上げます。相当前から考えに考えて、練りに練っての応援内容です。各組のメンバーは幹部・応援団から指導をされると、短期間のうちに習得し、全体練習に移っていきます。日々、上手になっていく生徒の練習風景を見るのが楽しみでした。

通常の体育祭ではトラックの種目や騎馬戦、綱引きなどがメインとなり、足の速い生徒など運動能力の高い生徒が注目されます。荒砥高校の体育祭では、幹部・応援団の指導のもと、組のメンバーがどれだけ心をひとつにして応援ができるかがメインとなります。ひとりも手を抜くことができない、生徒全員が主人公の体育祭です。応援披露の時間が近づくと、多くの卒業生がグラウンドに集まり、各組の応援披露を自分の高校生の頃を思い起こして見ていただいているようでした。

このように、生徒がひとつの目的に向かって努力する姿を見ていると、うれしくなります。高校生活の大きな思い出になるばかりでなく、社会人として最も必要なひとつを身につけて卒業していくのではないかと感じました。これからの学校生活は、この体育祭で得た団結力などを活かしたものになっていくことを確信しています。

【赤組の応援披露風景】



【白組の応援披露風景】

